

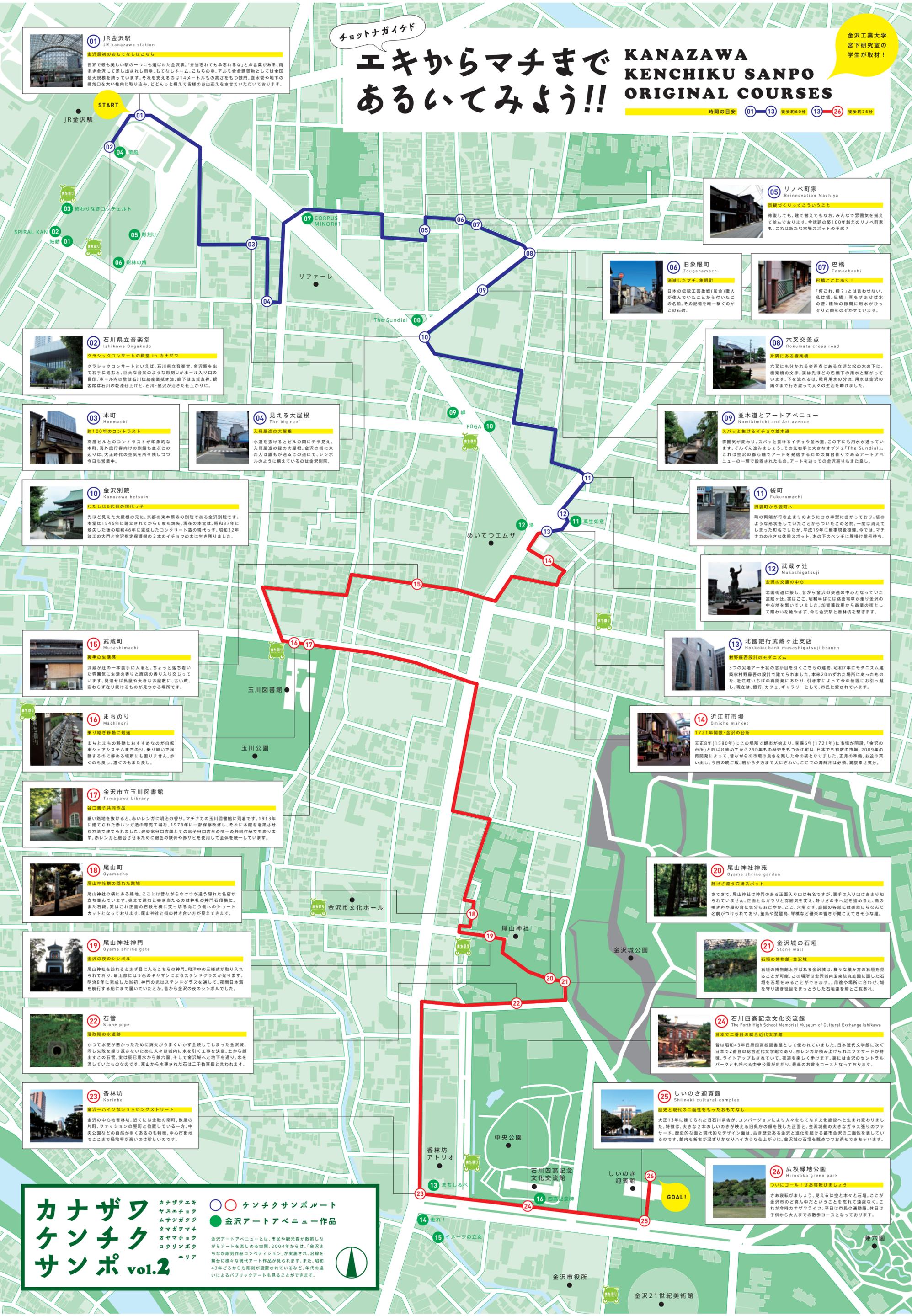
チョットナガイド

エキからマチまで あるいてみよう!!

KANAZAWA KENCHIKU SANPO ORIGINAL COURSES

金沢工業大学
宮下研究室の
学生が取材!

時間の目安 01-13 徒歩約60分 13-26 徒歩約75分



01 JR金沢駅
JR Kanazawa station

金沢最初のあてもなしほごちら

世界で最も美しい駅の一つにも選ばれた金沢駅。「弁当忘れても傘忘れるな」との言葉がある、雨多き金沢にて差し出されし雨傘、もてなしドーム、こちらのアルミ合金建築物としては全国最大規模を誇っています。それを支えるのは14メートルの高さをもつ鉄門、送水管や地下の排水口を太い柱に取り込み、どっんと構えて皆様のお出迎えをさせていただきます。

02 石川県立音楽堂
Ishikawa Ongakudo

クラシックコンサート観覧 in カナザワ

クラシックコンサートといえば、石川県立音楽堂。金沢駅を出て右手に進むと、巨大な音叉のような彫刻Uが丸い入口の目印。ホール内の壁は石川伝統産業試着室、廊下は加賀友禅、観客席は石川の乾漉仕上げと、石川・金沢が活かされた仕上がり。

03 本町
Honmachi

約100年のコントラスト

高層ビルとのコントラストが印象的な本町。海外旅行客向けの旅館も並ぶこの辺りは、大正時代の空気を所々残しつつ今日も営業中。

04 見える大屋根
The big roof

入母屋造の大屋根

小室を抜けるとビルの中にチラ見え、入母屋造の緑の大屋根。金沢の街に来た人は誰もが通るこの道にて、シンボルのようになっているのは金沢別院。

10 金沢別院
Kanazawa betsuin

わたしは6代目の現代っ子

先ほど見た大屋根の元、京都の本願寺の別院である金沢別院です。本堂は1546年に建立されたから6度も焼失。現在の本堂は、昭和37年に焼失した後の昭和46年に完成したコンクリート造の現代っ子。昭和32年竣工の大門と金沢指定保護樹の2本のイチョウの木は生き残りました。

15 武蔵町
Musashimachi

職手の生活感

武蔵が社の一本裏手に入ると、ちょっと落ち着いた雰囲気に生活の香りが入り交じっています。見れば長屋や大きなお屋敷、古い蔵。変わらざるに佇むものが見つかる場所です。

16 まちのり
Machinori

乗り継ぎ移動に最適

まちとまちの移動におすすめなのが自転車シェアシステムまちのり。乗り継いで移動するので停める場所にも困りません。歩くのもよし、漕ぐのもよし。

17 金沢市立玉川図書館
Tamagawa Library

谷口親子共同作品

細い路地を抜けると、赤いレンガに明治の香り、マチナカの玉川図書館に到着です。1913年に建てられた赤レンガ造の専売工場を、1978年に一部保存改修し、それに本館を増築させる方法で建てられました。建築家谷口吉雄とその息子谷口吉生の唯一の共同作品でもあります。赤レンガと融合させるために顔色の鉄骨や赤サビを使用して全体を統一しています。

18 尾山町
Oyamacho

尾山神社横の隠れた路地

尾山神社の横にある路地。ここには昔ながらのツウが通う隠れた名店が立ち並んでいます。奥まで進むと突き当たるのは神社の神門石段横に、また石段、実はこれ正真正正の石段を横に突っ切る向こう側へのショートカットとなっております。尾山神社と街の付き合い方が見えます。

19 尾山神社神門
Oyama shrine gate

金沢の夜のシンボル

尾山神社を訪れるとまず目に入るこちらの神門。和洋中の三様式が取り入れられており、最上部には5色のギヤマンによるステンドグラスが光ります。明治8年に完成した当初、神門の光はステンドグラスを通して、夜間日本海を航行する船にまで届いていたとか。昔から金沢の夜のシンボルでした。

22 石管
Stone pipe

豪族の水道橋

かつて水が乏しかったために湧水がうまくいかず枯れてしまった金沢城。同じ失敗を繰り返さないために人々は城内に水を引く工事を決めます。土から掘り出した石管。実は数日用水から第六園、そして金沢城へと地下を通り、水を流していたものなのです。富山から水運された石は二千数百個と言われます。

23 香林坊
Korinbo

金沢ハイソなショッピングストリート

金沢の中心地香林坊。近くには金魚の南町、歌舞伎の片町、ファッションの野町と位置している一方、中央公園などの緑が多くあるのも特徴。中心市街地でここまで緑地率が高いのは珍しいです。

05 リノベ町家
Reinnovation Machiya

壊れつつも、建て替えてもなお、みんなが笑顔で暮らす町家

修復しても、建て替えてもなお、みんなが笑顔で暮らす町家を撮ってみたい。これは金沢の町家100年を超えたリノベ町家も、これは新たな穴場スポットの予感?

06 旧象眼町
Zouganemachi

消滅したマチ、象眼町

日本の伝統工芸家(彫金)職人が住んでいたことから付いたこの名前。その記憶を唯一残るのがこの石碑。

07 巴橋
Tomeobashi

巴橋ここにある!

「何これ、橋?」とは言わせない、私は橋、巴橋! 耳をすませば水の音、建物の隙間に用水がひびひと音を響かせています。

08 六叉交差点
Rokumata cross road

片側にある橋梁橋

六叉にも分かれる交差点にある立派な橋の下に、細い橋の文字、実は先ほどの巴橋下の用水と繋がっています。下を流れるは、戦月用水の分流。用水は金沢の隅々まで行き渡り、人々の生活を助けてきました。

09 並木道とアートアベニュー
Namikimichi and Art avenue

スバッと抜けるイチョウ並木道

雰囲気が変わり、スバッと抜けるイチョウ並木道。この下にも用水が通っています。くぐりぬぎましょう。その先右手に大きなオブジェ「The Sundial」。これは金沢の都心軸でアートを発信するための舞台作りであるアートアベニューの一部で設置されたもの。アートを巡っての金沢巡りもまた良し。

11 袋町
Fukuromachi

旧袋町から袋町へ

町の再開発が行き止まりのようにU字型に曲がっており、袋のような形状をしたことからついたこの名前。一度は消滅してしまった町名でしたが、平成19年に無事復元。今では、マチナカの小さな休憩スポット、木の下ベンチに静かに待っています。

12 武蔵ヶ辻
Musashigatsuji

金沢の交通の中心

北国街道に接し、昔から金沢の交通の中心となっていた武蔵ヶ辻。実はここ、昭和半ばには路面電車が走り金沢の中心地を繋いでいました。加賀藩政から商業の街として賑わいを絶やさず、今も金沢駅と香林坊を繋ぎます。

13 北国銀行武蔵ヶ辻支店
Hokkoku bank musashigatsuji branch

村野藤吾設計のモダニズム

3つの尖塔アーチ状の窓が目印のこちらの建物。昭和7年にモダニズム建築家村野藤吾の設計で建てられました。本来20mずれた場所にあったものを、近江町いしほの再開発にあたり、引き寄せたことにより今の位置にお引っ越し。現在は、銀行、カフェ、チャラーとして、市民に愛されています。

14 近江町市場
Omicho market

1721年開設・金沢の台所

天明8年(1580年)にこの場所が朝市が始まり、享保6年(1721年)に市場が開発。「金沢の台所」と呼ばれることから290年もの歴史をもつ近江町は、日本でも有数の市場。2009年の再開発によって、昔ながらの市場の良さを残した今の姿となりました。正月の準備、お盆の買い出し、今日の晩ご飯、朝から夕方まで大にびわい。ここで海鮮は必須、満腹させ分けます。

20 尾山神社神苑
Oyama shrine garden

静けさ満ちた穴場スポット

さてさて、尾山神社は神門のある正面入り口は有名ですが、裏手の入り口はあまり知られていません。正面とはガラリと雰囲気を異にし、静けさの中を歩くと、鳥の鳴き声や風の音に気分もよたよた。ここ、穴場です。周囲の各部には茶室にちなんだ名前がつけられており、至宝や見物、導線など茶室の響きも聞こえてきそう。

21 金沢城の石垣
Stone wall

石垣の博物館・金沢城

石垣の博物館と呼ばれる金沢城は、様々な積み方石垣を見ることが可能。この場所は金沢城内玉泉院丸庭園に面した石垣を石垣をみることであります。用途や場所に合わせ、城を守り抜いた積み方をまとうとした石垣遺構とご賞あれ。

24 石川四高記念文化交流館
The Forth High School Memorial Museum of Cultural Exchange Ishikawa

日本で二番目の総合近代文学館

昔は昭和43年日本四高校図書館として使われていた。日本近代文学館に次ぐ日本で2番目の総合近代文学館であり、赤レンガが積み上げられたファードが特徴。ライトアップもされていて、夜道を楽しく歩けます。裏には金沢のセントラルパークとも呼ばれる中央公園が広がり、最高の散歩コースとなっております。

25 しいのき迎賓館
Shiinoki cultural complex

歴史と現代の二面性をもったおもてなし

大正13年に建てられた旧石川興會が、コンバージョンにより人々をもてなす文化施設へと生まれ変わりました。特徴は、大きな2本のしいのきが映える旧銀行の跡を残した正面と、金沢城跡の大きなガラス張りのファード。歴史的な面と現代的なデザイン面は、古き歴史ある金沢と進化を続ける都市の二面性を表しているのです。館内も新古が混ざりハイカラな仕上がり。金沢城の石垣を眺めつつお茶もできちゃいます。

26 広坂緑地公園
Hirotsuka green park

ついにゴール! さあ寝転びましょう

さあ寝転びましょう。見えるは空と木々と石垣。ここが金沢市のど真ん中というのを忘れて遠慮なく、これが今時カナザワライフ。平日は市民の運動場、休日は子供から大人までの散歩コースとなっております。

**カナザワ
ケンチク
サンポ vol.2**

カナザワエキ
ヤスエショウ
ムサツガツ
タマガワマチ
オヤマショウ
コウリンボ
エリア

● ケンチクサンポルート
● 金沢アートアベニュー作品

金沢アートアベニューとは、市民や観光客が気軽にアートを楽しむ空間。2004年からは、「金沢」をテーマにしたアート作品コンペティションが実施され、沿線に様々な現代アート作品が見られます。また、昭和43年から昭和44年に開催された「金沢」をテーマにしたアート作品コンペティションが実施され、沿線に様々な現代アート作品が見られます。また、昭和43年から昭和44年に開催された「金沢」をテーマにしたアート作品コンペティションが実施され、沿線に様々な現代アート作品が見られます。